決勝ゴールを叩き込んだ浅野（中央）。浅野をはじめ今大会、駒大にはまだまだ注目の選手が目白押し(撮影・野澤俊介)

とてつもない可能性

一度は追いつかれるも 浅野の決勝点で強豪・法大を撃沈！！

駒大の若きイレブンたちがピッチの上で躍動し続けている。第一戦、宮崎を中心とした攻撃陣が爆発したかと思えば、今回迎えた法大戦では新星・鎌田、浅野らの活躍でグループリーグ最大の敵を撃破。この２戦、駒大の若きイレブンたちはその可能性を存分に発揮してくれた。しかし、更なる高みへ！彼らの可能性はまだまだこんなものではない。

〝駒大の秘密兵器〟がベールを脱ぐ!!

新人戦の初戦を５－０と快勝した駒大。この日はグループリーグ最大の敵と目される法大と対戦した。この戦いに勝てば一気に決勝トーナメントへの道が開けるだけに是が非でも勝ちたい駒大。両チームとも昨日からの連戦という事でメンバーを第一戦からいじくり臨んだ第二戦。そのメンバー変更が功を奏したのは駒大だった。前半15分、**石井**からのパスを**覚張**がシュート。しかしボールは惜しくもバーの上。そして迎えた25分、**赤嶺**のパスを初先発の**鎌田**が技ありのシュート。そのボールはそのままゴールし、駒大が先制。「たまたまです。けど、一点は一点なんで」（**鎌田**）という技ありゴールは勝利をたぐい寄せるには十分だった。前半はこのまま駒大の１点リードで終了する。

後半も前半の勢いそのままに法大ゴールに襲いかかる駒大だが、法大GK・**清野**の好セーブの前に追加点をなかなか奪えない。そして、駒大が追加点を奪えずもたついていると、逆に71分、法政大の素早いカウンターから同点ゴールを許してしまう。この試合でなんとしても勝ち点３が欲しい駒大はここで大胆な選手起用に踏み切る。ディフェンス登録の**浅野**をフォワードとして投入。そしてこの大胆な采配がズバリ的中する。74分、**鎌田**のセンタリングを「途中出場なのでガンガン行こうと思った」と言う**浅野**がヘディングで押し込み再度、法大を突き放す。**浅野**は**秋田監督**が期待する〝駒大の秘密兵器〟。その**浅野**が期待に応え貴重なゴールを叩き込んだ。その後も75分、79分、81分と法大ゴールに襲いかかったが得点は奪えず、逆に法大の逆襲をくらうが**牧野**を中心としたディフェンス陣が気迫でゴールを死守し、結局試合はこのまま終了。駒大が２連勝を飾り、決勝トーナメント進出に向けて大きく前進した。

試合後、キャプテンの**牧野**は「駒大らしいサッカーが出来た」と語る一方で「頑張りが足りない。アップダウンや後ろから蹴って前の選手へつなぐタイミングとかを覚えて欲しい」と次への課題も忘れなかった。他の選手たちも「自分の出来は30点。もっと動けたはず！」（**鎌田**）、「ディフェンスの時もっと強くいけたはず」（**浅野**）と課題をあげ慢心などというものは微塵も感じさせなかった。

新人戦はまだ２戦が終わったばかりだが原石たちは眩いばかりの輝きを放っている。２試合で７得点の攻撃陣はもちろんのこと、Ａチームで活躍している選手が多いディフェンス陣の安定も特筆すべきである。この選手たちが２年後、駒大の主力になった時…、そう思うだけでも今か